

広郷土史研究会

会報

第86号

事務局 呉市広公民館内
〒737-0706 広古新開2丁目1-4
電話 71-0706 FAX 73-5304
発行 平成20年7月1日
広郷土史研究会編集委員会

広園芸出荷組合第二作業所前での記念写真



明治20年ころから広村の大新開等の新開地では塩に強い米国カルホルニア産のキャベツを盛んに栽培して「呉海軍工廠」その他に大量に納めていた。

このキャベツを広村では「甘藍（かんらん）」と唱えていた。

大正時代に入ると吉松の村会議員玉木伊之吉氏が「広園芸出荷組合」を組織し品種改良を重ねて広村の一代名産品として全国にその名が知られるようになり全国各地から盛んに視察者がおとずれるようになった。

大正時代に視察に訪れた人と地元の組合員が第二作業所の前で取った記念写真。

(写真提供 広吉松 玉木 ヒサコ 氏)

目次

長浜で息づく地域共同体「石泉和上と石泉文庫」	荒本 昱夫・・・2頁
藤田家文書第F章「広村郵便局開設関連文書」解説文	小栗 康治・・・5頁
広郷土史研究会会報掲載内容案内	上河内良平・・・14頁
例会報告	吉田 顕治・・・19頁